

新着図書案内



〈物語〉シリーズ

『撫物語』

西尾維新 著



忘却探偵シリーズ

『掬上今日の家計簿』

西尾維新 著



日本文学全集 30

『日本語のために』

池澤夏樹 編



岩波ジュニア新書

『ハッブル 宇宙を広げた男』

家 正則 著



『本当は明るい

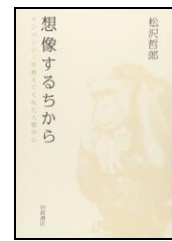
コメ農業の未来』

窪田新之助 著



『コメをやめる勇氣』

吉川忠則 著



『想像するちから』

松沢哲郎 著



『ローカル仕事図鑑
新天地のハローワーク』

DECO 編



『ドッグトレーナー・
犬の訓練士になるには』

井上こみち 著



『販売員・ファッション
アドバイザーになるには』

浅野恵子 著



『カフェオーナー・カフェスタッフ・
バリスタになるには』

安田理編 著



『警備員・セキュリティ
スタッフになるには』

山中伊知郎 著



『自動車整備士になるには』

広田民郎 著



『介護福祉士になるには』

渡辺裕美 編著



『イベントの仕事で働く』

岡屋竜美 著



『アウトドアで働く』

須藤ナオミ著, キャンプよろず研究所編

延滞図書返却のお願い

二学期に入ってから、二度督促状を配布しましたが、夏休み前に借りた本をまだ返していない生徒が何人もいます。次に読みたい人がいることを考えて、すぐ返却しましょう。

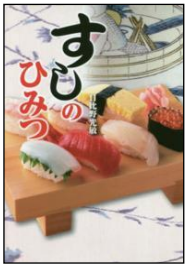
読んだ感想を 絵に描こう

読書感想画 中央コンクール 指定図書

内容紹介は公式サイトによる。



『**白をつなぐ**』まはら三桃 著
中学生から高校生、大学生や社会人まで 7 人の選手がたすきをつなぐ都道府県対抗駅伝。武士道ファン、チャラ男、天然系、大物スター選手……と個性派ぞろいの福岡県チームはそれぞれの「白」を背負って美しい広島街を走る。



『**すしのひみつ**』

日比野光敏著

東南アジアが発祥というすし。日本に伝わってから今日の握りすしの形になるまでには、幾多の改革、改良が重ねられてきた。人々の欲求と時代の影響を受け、変貌し続けてきたすしの歴史を興味深く解き明かすノンフィクション。



『**車夫**』いとうみく 作

吉瀬走は高校陸上部の長距離選手。父親が失踪した 1 か月半後、経済的な頼みの綱だった母親も出奔。高校を中退し、人力車を引く車夫になる。浅草の街を駆け抜ける 17 歳の走と、彼を取り巻く人々の清々しい群像劇である。



『**戦火の三匹: ロンドン大脱出**』ミーガン・リクス 作/尾高薫 訳

1939 年 9 月、第二次世界大戦が開戦した。ロンドンのとある家庭で幸せに暮らしていた犬のバスターとローズ、猫のタイガーは動物保護施設で安楽死させられそうになる。慌てて逃げ出した 3 匹の長い冒険の旅が始まった。



『**誰も知らない東京スカイツリー**』

根岸豊明 著

東京スカイツリーはどのような経緯で建てられたのか。新タワー推進プロジェクトに携わった著者の視点から、候補地の選定、事業主体である東武鉄道との交渉などを中心に、超高層タワーの発案から開業までの内情に詳しく迫る。

指定図書はすべて図書館にあります。また、図書館前掲示板には、過去の優秀作品による『読書感想画カレンダー』を掲示しています。

チャレンジしたい生徒は学校司書の堀か美術の十川先生まで。

クラス・学年別貸出状況(8月)

8月の図書貸出総数は全校で**63冊**でした。内訳は、生徒への貸出数が**14冊**、教職員への貸出数が**49冊**です。クラス別では3B、学年別では3学年がトップでした。

